

堺市立健康福祉プラザ



スポーツセンターたより



堺市堺区旭ヶ丘中町 4 丁 3 番 1 号 TEL : 072-275-5029 FAX : 072-243-4545

第 24 回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ」堺市選手団の活躍を報告します

今大会は、10 月 25 日(土)～10 月 27 日(月)までの 3 日間で 7 つの個人競技と 7 つの団体競技が滋賀県の各地で開催され、堺市選手団は、7 つの個人競技と 1 つの団体競技に出場いたしました。皆様からの応援ありがとうございました。各競技の競技結果は、下記の通りです。

堺市選手団の派遣期間は、
10 月 24 日(金)～10 月 28 日(火)の 5 日間

堺市選手団 獲得メダル数 27 個
金メダル 13 個 銀メダル 9 個 銅メダル 5 個

号外
18 号



団 長 涌井 忠昭(関西大学 人間健康学部教授)



「湖国の感動 未来へつなぐ」のスローガンの基、「第 24 回全国障害者スポーツ大会 「わた SHIGA 輝く障スポ」は、2025 年 10 月 25 日(土)～10 月 27 日(月)の 3 日間、滋賀県で開催されました。

今大会は 3 日間とも雨で、特に屋外競技ではコンディションが悪い中、選手は健闘しました。堺市選手団は、昨年より多くのメダルを獲得することができましたが、残念ながらメダルに手が届かなかった選手もいました。しかし、全選手は日頃の練習の成果を存分に発揮し、躍動感あふれるプレーは私たちに感動を与えてくれました。また、全国から集まった選手や、地元滋賀県の方々、学生サポーターと交流を図ることもできました。

一方、ここ数年参加して思うことは、他の都道府県選手のレベルが向上していることです。したがって、選手はこれまで以上にトレーニングに励むことが課題と言えます。

来年は青森県で開催されます。全国大会を目指すみなさん、来年の全国大会出場に向けて頑張りましょう。

最後に、堺市に無事帰ってくることができたのは、堺市、監督、コーチおよび総務すべてのみなさまのご協力のお陰と感謝し、「第 24 回全国障害者スポーツ大会 わた SHIGA 輝く障スポ」の報告とさせていただきます。

みなさまの応援ありがとうございました。

選手団キャプテン

田中 樹 選手(陸上競技)



「湖国の感動 未来へつなぐ」のスローガンのもと滋賀県で開催されました。

天候は雨で気温も低かったので、監督、コーチ、スタッフ、ボランティアの皆さまには、例年よりも多くのサポートをして頂いた大会でした。

僕たちが競技をしている時には、「堺の応援の輪」が選手みんなの頑張る力になり、気持ちがどんどん熱くなりました。結果、陸上競技 8 個、堺市全体では 27 個のメダルを獲得することができました。

個人的には、1500m、800mに出場しましたが、悔しい結果でした。この悔しさを前向きに受け止め、頑張りたいと思います。

選手団キャプテンに任命していただき、不安もありましたが、様々な場面で貴重な経験をさせて頂きました。

今大会に携わっていただいた皆さま、本当にありがとうございました。

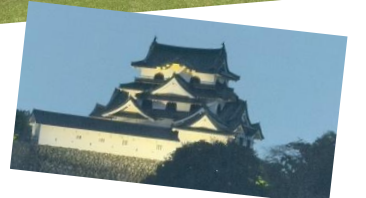
副 団 長 曾根 裕二(大阪体育大学 教育学部准教授)

2025 年の障スポは 10 月 25 日(土)～27 日(月)にかけて湖国、滋賀県を舞台に開催されました。コロナ禍で中止となった三重大会を除けば、2015 年の和歌山大会以来の近畿地方での開催となりました。

私は副団長として、大会初日はバスケットボール、フライングディスク、ボッチャ、2 日目は卓球と水泳、3 日目は陸上と各競技場を巡り、堺市代表選手の応援を行いました。昨年まではレンタカーで各会場を回ったのですが、今年は電車やシャトルバスを乗り継ぎ、公共交通機関での移動でした。昨年より不便な移動となりましたが、開催県スタッフのホスピタリティに気づく機会にもなりました。シャトルバスの乗り場で丁寧に行き先を確認いただいたり、雨の中、タクシーの誘導をしていただいたり、マニュアルとにらめっこして場所を教えていただいたり、開催県スタッフが丸となって大会を成功させようという思いを強く感じました。

私が訪れた各会場では堺市代表選手たちの素敵な姿を見ることができました。点差が開いても諦めずにくらくつく姿、倒れた相手選手に手を貸す姿、悪条件の中で文句も言わずに自分のパフォーマンスに集中する姿、初出場で緊張しながらもパフォーマンスを発揮する姿、団付係さん・団サポさんや他選手団と楽しく交流する姿、思うような結果が出なくても次に出る選手を応援する姿……。競技の結果については一人ひとりが振り返る事と思いますが、競技場の内外で大会に関わる全ての人が輝けた大会であったと感じました。

今大会を経験して、来年の青森大会に向けての決意を新たにした選手も多いのではないのでしょうか。青森大会の予選となる堺市障害者スポーツ大会まで約半年です。まだ先だと考えるか、もうすぐだと考えるか、それによって日々の過ごし方も変わってくるかもしれませんね。次年度の堺市の大会で更に成長した皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



各競技の競技結果・大会の様子は下記の通りです。

競技名	氏 名	種 目	記録	順位
陸上競技	樫木 亮太	800m	2'15"96	2位
		1500m	4'47"35	2位
	東 蒼介	砲丸投	9m 48cm	3位
		ソフトボール投	33m88cm	4位
	増戸 拓未	100m	14"25	4位
		走幅跳	3m99cm	1位
	仲尾 凛人	100m	13"70	8位
		100m	13"04	8位
	長岡 拓海	ジャベリックスロー	54m02cm	1位
		田中 樹	800m	2'19"19
	1500m		4'44"26	6位
	平井 良和	200m	24"94	3位
		400m	57"32	5位
	吉川 瑛葉	200m	31"94	1位
		400m	1'14"62	1位
	藤井 健大	100m	13"78	6位
200m		29"33	4位	
仲尾 凛人	4×100mリレー	53" 59	5位	
長岡 拓海				
平井 良和				
吉川 瑛葉				

競技名	氏 名	種 目	記録	順位
水泳競技	小島 光明	25m自由形	16"55	1位
		25m平泳ぎ	19"88	1位
	中塩屋 葵	50m自由形	52"31	1位
		50m背泳ぎ	1'01"74	1位
	松井 緑樹	25m自由形	15"00	4位
		50mバタフライ	33"87	2位
	神前 美月	25m自由形	21"69	4位
		50m背泳ぎ	55"36	3位
	三光 夏叶	25mバタフライ	21"32	7位
		50m自由形	43"10	8位
アーチェリー競技	村田 義広	コンパウンド50m・30mラウンド	597点	6位
卓球競技	草野 春雄	一般卓球	2勝1敗	1位
	高杉 重昌	サウンドテーブルテニス	2敗	3位
	川口 和也	一般卓球	2敗	3位
	宮野 智恵	一般卓球	1勝1敗	2位
	中嶋 良典	一般卓球	1勝1敗	2位
	田代 純子	一般卓球	1勝1敗	2位

競技名	氏 名	種 目	記録	順位
フライングディスク競技	古賀 祐喜	アキュラシー・ディスリット5	6投	5位
		ディスタンスメンズ・スタンディング	32m31cm	6位
	羽田 加寿男	アキュラシー・ディスリット5	10投	2位
		ディスタンスメンズ・スタンディング	41m80cm	1位
	麻生 萌樹	アキュラシー・ディスリット5	6投	6位
		ディスタンスメンズ・スタンディング	50m79cm	1位
	坂口 寛	アキュラシー・ディスリット5	9投	2位
		ディスタンスメンズ・スタンディング	44m60cm	1位
ボウリング競技	鍋谷 周平	ボウリング	4ゲーム合計 516点	6位
	米谷 公明	ボウリング	4ゲーム合計 639点	1位
	山本 哲也	ボウリング	4ゲーム合計 595点	5位
ポッチャ競技	市田 瑞季	ポッチャ	1勝1敗	2位
	山村 輝雄	ポッチャ		
バスケットボール競技	堺 市	バスケットボール(知的)女子	一回戦敗退(VS秋田県)	57対63
			交流戦(VS滋賀県)	19対19 抽選勝ち
			交流戦(VS山口県)	12対27

陸上競技



永山監督



陸上競技は、平和堂 HATO スタジアムで 3 日間実施されました。3 日間連続雨という、悪コンディションの中、代表選手は健闘し、合計 8 個のメダルを獲得しました。

「チーム堺」で走り、跳び、投げ、バトンを繋げました。初出場 3 選手も健闘しました。

選手、コーチ、関係者等、多くの方々にご協力、ご支援を頂き、ありがとうございました。

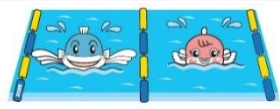


左から 【後列】 後藤コーチ、榎原コーチ、若狭コーチ、田中選手、東選手、小野総務

【中列】 永山監督、樫木選手、増戸選手、サポートボランティアさん

【前列】 中村コーチ、吉川選手、平井選手、長岡選手、仲尾選手、藤井選手

水泳競技



登佐監督

水泳(競泳)競技は、2 日間にわたってインフロニア草津アクアティクスセンターで行われました。今回の選手団は男性 3 名、女性 2 名、計 5 名で、今回初めての参加者は 3 名でした。

本番当日まで、強化練習会(大阪府選手団との合同練習会も 2 回含む)を実施したり、各選手が自主的な練習をこなしたりした結果、初日より、パーソナルベストを更新された方やメダルを獲得された方もでした。2 日間を通して、各選手がしっかり実力を発揮されたことが素晴らしかったと、感じています。選手団席では、大阪府選手団、大阪市選手団と 2 日間交流を深め、『オール大阪』として一体感のある応援ができたことも、全国大会の意義の一つであったと感じています。また、滋賀県での実施であったため、選手の家族の方がたくさん応援していただいたことも、選手の大きな励みになりました。

次回、青森での大会をめざす多くの選手が、現れることを期待しています。

おわりに、今回の選手団の派遣にあたり、ご支援ご協力いただいた関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。



左から 【後列】 登佐監督、小島選手、松井介助者

【前列】 松井選手、三光選手、中塩屋選手、神前選手、佐野総務

アーチェリー競技



野口監督



大会まで体調を考慮しながら練習をしており、十分な練習量ではなかったと思われます。また、雨の中での大会となり、かなり条件的には厳しかったです。そんな中でも競技の途中までしっかりと自分の射ができていました。後半の 30m 立ち上がりで不本意な射が出てしまい、思った通りの得点を記録することができなかったように思いますが、しっかり最後まで心折れることなく完射されました。



左から 野口監督、サポーターボランティアさん、村田選手

卓球競技



日頃の練習の時に「一本でも多く相手コートに返球する事」を心掛けて選手たちは練習をしておりました。
ゲームではそのことが上手く出来た選手、出来なかった選手各人が体験した事と思います。
素晴らしいラリーが繰り広げられる場面もありました。その結果悔し涙を流している選手もいました。その涙は『来年こそはもっと頑張るぞ』と言う涙だと思います。
勝った選手も負けた選手も一人一人が輝けた大会だったと思います。
地元ボランティアの方々には心のこもったサポートをして頂き無事大会を終えることが出来ました。ありがとうございました。



池田監督



左から【後列】安東看護師、村上さん、サポーターボランティアさん、実施本部員さん
【中列】田代選手、池田監督、高杉選手、久保サポータースタッフ、森本総務、草野選手
【前列】川口選手、小西コーチ、宮野選手、中嶋選手

フライングディスク競技



柳原監督

フライングディスク競技では 4 名の派遣となりました。それぞれそれなりの成績だったと思います。全国的に競技力は向上しています。日頃の努力があらわれます。堺市スポーツ大会に参加して全国大会を目指してください。



左から【後列】羽田選手、坂口選手
【前列】石岡総務、古賀選手、柳原監督、麻生選手



ボウリング競技



ボウリング競技には、久し振りに3名の選手派遣となり、入賞目指し頑張ってきました。結果は米谷選手が金メダルで昨年のリベンジを果たしました。終始自己のペースを維持したことや日頃の練習成果が遺憾無く発揮された結果だと思えます。他の2名の選手も、後少しで入賞出来るところまで頑張りましたが、接戦負けしてしまいました。天候特に湿気によりレーンコンディションに影響される難しい状態だった様に思え、対応出来なかったのではないかと思います。来季への課題です。応援して下さった皆さんには厚く御礼申し上げます。また総務の方々には大変お世話をお掛けしました事に改めて深く御礼申し上げます。



砂古口監督

左から 砂古口監督、米谷選手、サポーターボランティアさん
山本選手、鍋谷選手、長谷川総務

ボッチャ競技



河澄監督



今大会は、銀メダルを獲得する事ができました。練習から選手それぞれが新たな課題に挑戦し、その成果を試合の中で発揮する事ができました。選手にとってこの大会がゴールではなく、次へつながる貴重な経験となりました。

またボッチャは、全ての垣根を超えて、誰でもできるスポーツです。滋賀のスタッフの皆さまや、全国の選手団の方々と、大会期間中にボッチャを通して交流できたことは、この競技の魅力そのものだと感じました。

全員が健康で無事に大会を終えられたのは、応援し支えてくださった皆さまのおかげです。ありがとうございました！



左から【後列】市田介助者、実施本部員さん、森中総務、サポーターボランティアさん、河澄監督
【前列】市田選手山村選手、曾根副団長

バスケットボール競技



奥田コーチ

一回戦 VS 秋田県 一昨年のリベンジを期して臨みましたが、惜しくも届かず敗戦。

交流戦① VS 滋賀県 地元の声援を受け、力を振り絞って粘る相手チームに同点フリースローを決められるも抽選勝ち。

交流戦② VS 山口県 昨年、一昨年の銅メダルチームとの初顔合わせでしたが敗戦。7チーム中、6位という結果でした。拮抗したチームとの対戦で、どのゲームもクォーターごとにリードを奪い合う形の熱戦となり、ゲーム後や宿舎でも自然と、健闘を讃えあうような交流が見られました。ちなみに交流戦①の抽選は、(プロ野球のドラフト会議のように、手にした封筒から、セーので紙を引き抜き、朱書きの「勝ち」を引き当てたチームの勝利という形)堺市が先に封筒を選び、引き当てました。



奥田コーチ、角場アシスタントコーチ、北園マネージャー
渡邊選手、加藤選手、樋高選手、藤井選手
大仲選手、中谷選手、大橋選手、村谷選手

第20回堺市障害者スポーツ大会 団体競技(オープン)報告

堺市障害者スポーツ大会団体オープン競技を開催いたしました！

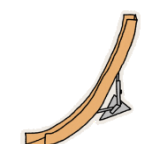
8/3(日)にボッチャ競技、9/21(日)にふうせんバレーボール競技を開催し、今年の堺市障害者スポーツ大会全日程を無事終了しました。

ボッチャ競技は、12 団体 42 名、ふうせんバレーボール競技は、8 団体 66 名が参加されました。両競技共に、どの選手の皆さんも熱心に取り組まれ、白熱した試合の数々を見ることができました。また、日頃の練習成果を発揮できたチームもあれば、できなかったチームもチーム間でコミュニケーションを盛んに取り、戦略を立てている姿などを見ることができ、どの選手も楽しみながら競技に参加されていました。

来年も開催予定ですので、皆さんのご参加を心よりお待ちしております!!



ボッチャ



ふうせんバレーボール

